

新潟県内の北陸自動車道 40年のあゆみ

北陸道の開通概要

【新潟県内】

- ①昭和53(1978)年9月 新潟黒埼IC*~長岡IC
- ②昭和55(1980)年9月 長岡JCT~西山IC
- ③昭和56(1981)年10月 西山IC~柏崎IC
- ④昭和57(1982)年11月 柏崎IC~米山IC
- ⑤昭和58(1983)年11月 米山IC~上越IC
- ⑥昭和62(1987)年7月 上越IC~名立谷浜IC
- ⑦昭和63(1988)年7月 名立谷浜IC~朝日IC

【新潟県内初の開通区間】

【北陸道(米原JCT~新潟西IC)全線開通】

*新潟黒埼IC:現在の新潟西IC付近

【富山県以西】

昭和47(1972)年10月 小松IC~金沢西IC
以降、昭和58(1983)年までに米原JCT~朝日ICが
段階的に開通

おかげさまで、平成30年は、北陸道(米原JCT~新潟西IC)
全線開通から30年。北陸道県内初開通から40年を迎えます。

【周年記念ロゴマーク】



全線開通から30年、新潟県内では延べ2.5億台(3.4億人)が利用

●北陸道(朝日IC~新潟西IC間)の利用状況



利用台数	2.5億台
利用人数	3.4億人
時間短縮便益	10,915億円

対象区間:朝日IC~新潟西IC

- 利用台数
 - ・対象期間:1978年9月開通~2017年12月(40年間)
 - ・資料:NEXCO東日本
- 利用人数の算出方法
 - ・各年の年間利用台数(台)×平均乗車人数(センサス値)
- 時間短縮便益の算出方法
 - ※便益とは、時間短縮の価値を貨幣換算したものであり、北陸道の整備有無による所要時間差から試算
 - ・所要時間算出区間:
整備前:朝日IC~新潟西IC間を国道8号で走行
整備後:朝日IC~新潟西IC間を北陸道で走行
 - ・所要時間:NITASより算出
 - ・高速道路の年間利用台数(台)を対象

*新潟黒埼IC:現在の新潟西IC付近

あなたに、ベスト・ウェイ。



所要時間短縮と 安全性・信頼性の向上

■ 新潟県内・富山・石川間の所要時間が大幅に短縮

● 主要都市間の北陸道整備前後の所要時間の変化



利用者の声

富山・金沢との時間距離が随分短くなりました。おかげで行く機会が増えました。
(40代男性 新潟)

資料 Webアンケート調査結果 (NEXCO東日本)



資料 道路交通センサスによる所要時間算出
各都市の市町村役場付近を発着地点として算出

■ 幹線道路の整備・改良により安全性・信頼性が向上

● 幹線道路(北陸道・国道)の死傷事故率



資料：事故件数：統計年鑑（新潟県警察）
交通量：交通統計（NEXCO東日本）より
事故率を算出

利用者の声

新潟・富山県境は親不知という難所でしたが、高速ができて楽に通行できるようになりました。
(60代男性 新潟県右件)

早く・確実に、信頼性の高い道路です。

<p>中越運送(株)の声</p> <p>ドライバーの拘束時間が短縮され、到着時間の見込みが立てやすくなりました。</p> 
<p>県内運送会社の声</p> <p>配達に3日以上かった地域が、北陸道を利用したトラック輸送では、2日目の配達が可能になりました。</p> 
<p>朝日酒造(株)の声</p> <p>製造品の県外（西日本）への搬送においては、 ①輸送時間が短縮される、 ②渋滞を気にしなくてよい、 ③着日の期日指定において有効であるという理由から北陸道を利用しています。</p> 

資料 ヒアリング・Webアンケート結果 (NEXCO東日本)
写真 (各社提供)

あなたに、ベスト・ウェイ。



高速バスによる 県内外への移動

■ 高速バスの路線が拡充、通勤・通学にも利用

北陸道の開通とともに運行が開始され、現在では北陸・関西方面とを結び、主要な交通機関に発展しました。

● ①新潟県で初めての高速道路開通（昭和53年）



開設から2年経過しても順調に乗客が増加しドル箱路線に成長。買い物・ビジネスに市民の足として定着。

● ②上越IC～新潟西IC間開通（昭和58年）



上越線は、開設後一ヶ月の利用が予想を上回るすべり出し。新潟への通勤利用や10時台には女性客が目立つ。

● ③北陸道（米原JCT～新潟西IC）全線開通（昭和63年）



ビジネス客や家族連れて、大阪への高速深夜バスは第1便からほぼ満席のスタート。県内の予約客が約9割を占める。

● ④現在（平成30年）



高速バス利用者の声

乗換なしに病院や県庁に行けるので便利です。新潟市内の大学まで、下宿をせずにバスで通学しています。

（越後交通（株））



上越市役所の声

新潟方面へのアクセスが良いため、高速バスを利用する人が多く、上越市から新潟市への移動手段として定着しています。高田公園の百万人観覧会などへ、関西方面からバスを利用した観光客も増えています。

高速バス利用者の声

新潟方面への移動が便利になりました。駅は階段の上り下りが大変なのでバスの方が利用しやすいです（高齢者の方）。

（頭城自動車（株））



パークアンドバスライド

自家用車で巻湯東ICの駐車場へ



高速バスで新潟市内へ



パークアンドバスライドの定着などもあり、平成28年の高速バス定期券利用者は、10年前より約2割ほど増加。（越後交通運行分調べ）

資料 ヒアリング結果（NEXCO東日本）

あなたに、ベスト・ウェイ。



新潟産農作物の流通を支援

野菜の県外への出荷が増加

北陸道（米原JCT～新潟西IC）全線開通の前後において、緑黄色野菜やネギなど県産野菜の北陸・関西方面への出荷が大幅に伸びました。

●新潟県産野菜の出荷割合の変化（県外出荷）



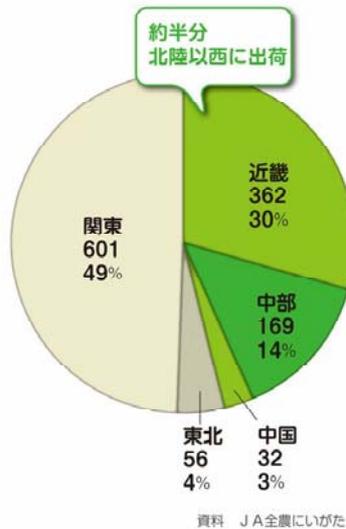
チューリップも県外への出荷が増加

生産量日本一のチューリップも、北陸道によって中部・近畿・中国地方まで安定的に輸送されています。

●チューリップの出荷量推移



●チューリップの主な出荷先



JA全農にいがたの声

- ・北陸道の開通により、近畿・中国方面への輸送ルートが増え、冬期の輸送が安定しました。
- ・北陸道により荷痛みが減少し、市場へ定刻に届けられるようになりました。

資料: ヒアリング結果 (NEXCO東日本)

あなたに、ベスト・ウェイ。

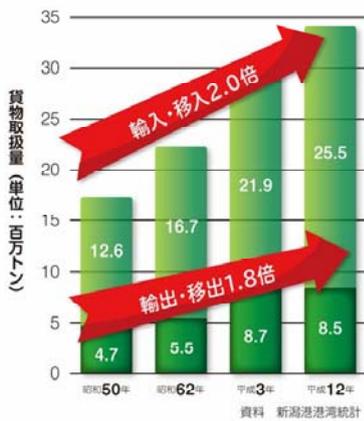


新潟県の製造業・物流を下支え

■新潟港と連携し、出荷が拡大

新潟港から輸入した材料で製品を作り、北陸道で各地に運んでいます。

●新潟港の貨物取扱量の推移

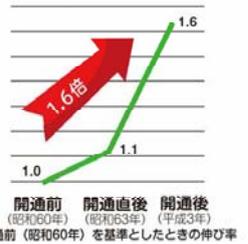


●水産わり製品の例

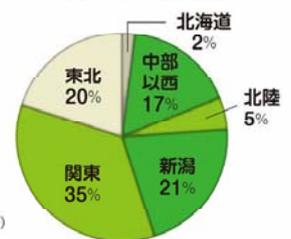
(株)堀川新潟工場

納品の時間を厳守するためには、時間の読める北陸道の利用が欠かせません。

●出荷額の伸び



●出荷の方面別割合



資料 ヒアリング結果 (NEXCO東日本)
写真 (株)堀川提供

■新潟県の製造品を北陸・関西方面へ

北陸道 (米原 JCT ~ 新潟西 I C) 全線開通の前後で、新潟県の製造品出荷額の伸びは、全国平均を上回りました。様々な製品が北陸・関西方面に運ばれています。

デンカ (株) の声 [化学工業]

遠距離からの原料輸送に北陸道を利用します。専用車で台数が限定される原料もあり、安定供給への効果が大きいです。



新潟運輸 (株) の声 [運送業]

米菓などを関西方面に運んでいます。北陸道により、定時性が確保され、事故の危険性も減りました。

(株) コロナの声 [金属製品製造業]

北陸道で、県内工場間や関西・九州の物流拠点へ輸送しています。開通により、国道8号との併用が可能となり、リスク低減がはかられました。



●新潟県の製造品出荷額



日本金属洋食器工業組合の声 [金属製品製造業]

北陸道により時間が短縮され、輸送範囲が広くなりました。



(株) ブルボンの声 [食品製造業]

北陸道で、商品を北陸や関西以西に輸送しています。時間短縮と品質保持の効果があります。



資料 ヒアリング結果 (NEXCO東日本)
写真 (各社、組合提供)

あなたに、ベストウェイ。



観光客の増加に貢献

新潟県の観光客数が増加、県外から佐渡観光やスキー、海水浴に

北陸道が開通した当時、北陸方面とのアクセスが向上し、新潟県外からの観光客が大幅に増加しました。

●新潟県の観光入込客数の推移



利用者の声

北陸道のおかげで観光やドライブに行く機会が増えました。
(50代女性 富山県在住)

北陸道がない頃は、夜通して新潟に向かっていました。今はアクセスが良くなり、寄り道をして早く帰れるようになりました。
(40代男性 長野県在住)

信越のスキー場に行きやすくなりました。
(50代男性 石川県在住)

北陸道を利用して家族旅行に行きました。初めての新潟が楽しかったです。
(40代女性 石川県在住)

資料 Webアンケート調査結果 (NEXCO東日本)

●スキーや海水浴の観光入込客数の推移

- 平成元年度の年間入込客数が50万人以上の主要観光地点
- 平成元年度の年間入込客数が50万人以上の海水浴場、スキー場 (当時の市町村単位で集計)

資料 新潟県観光動態の概要/写真 新潟観光ナビ



あなたに、ベスト・ウェイ。



地域スポーツ活動を 応援

■ 高速バスツアーで全国各地へアルビレックス新潟の応援に

敵地で試合が行われる際には、アウェイ応援バスツアーが生まれ、北陸道を利用してサポーターの熱き応援を選手に届けています。



資料 アルビレックス新潟 ホームページ



新潟交通（株）の声

バスツアー利用者は共通の目的による団結力が生まれ、特に単独での参加者同士が友好を深めています。毎年ご好評いただいています。

アルビレックス新潟の声

個人で移動するよりも気楽で、事故の危険性も少なくなるので、サポーターの要望もふまえてバスツアーができました。

資料 ヒアリング結果（NEXCO東日本）



※2018年2月～8月にツアー実施（予定）の相手先 北陸道利用

■ 栗東トレーニングセンター（滋賀県）から北陸道で競走馬を輸送

競走馬のストレスを溜めないように速度変化の少ない高速道路で運ばれています。



馬運車に載せ



高速道路で丁寧に運び



新潟競馬場へ出走

約2,000台の馬運車が北陸道を使って競走馬を輸送。新潟や福島等の競馬場へ。
（平成29年）



新潟記念（平成29年）

資料 日本中央競馬会（JRA）

JRA日本中央競馬会の声

北陸道がない時は、ギリギリまで高速道路を避け、一般道で運んでいました。馬運車による長距離輸送では、馬がストレスを溜めないように、安定に走る必要があります。高速道路は、輸送時間を大幅に短縮できるほか、揺れが少ないことからいつも利用しています。

資料 ヒアリング結果（NEXCO東日本）



あなたに、ベスト・ウェイ。



幹線道路の整備と市街地のひろがり

北陸道や国道バイパスの整備と沿線市街地の状況



長岡JCT付近



上越IC付近



糸魚川IC付近



資料 国土画像情報【第一期：昭和49年～昭和53年】（国土地理院）を加工して作成

資料 全国最新写真【シームレス】（国土地理院）を加工して作成

あなたに、ベスト・ウェイ。



災害支援に向けた北陸道の役割

■ 広域ネットワーク機能

●新潟県中越地震【平成16年10月23日発生】

中越地震では、比較的被害の小さかった北陸道は早期に通行止めを解除し、被害の大きい関越道の代替路線として、関東方面からの物資輸送等に貢献しました。



●東日本大震災【平成23年3月11日発生】

東日本大震災では、首都圏・関西方面から被災地へ多くの支援物資が北陸道を経由して運ばれました。



●糸魚川市大規模火災【平成28年12月22日】

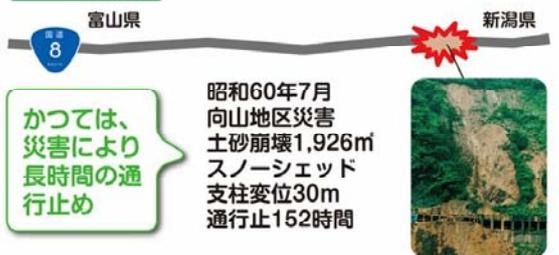
糸魚川大火では、遠方の村上市や阿賀町の消防本部からも支援がありました。広域的な緊急活動においても北陸道をご利用いただいています。



■天嶮親不知のリダンダンシー機能

かつて、新潟県と富山県をつなぐ道路は国道8号だけで、有事の際は長時間にわたり交通が遮断されました。現在は、北陸道の整備と国道8号の改良によって相互に代替路機能を発揮し、万一の場合でも物流や人の流れを確保しています。

S60年7月



現在



あなたに、ベスト・ウェイ。



命をつなぐ北陸道

■ 第三次救急医療機関への所要時間が短縮

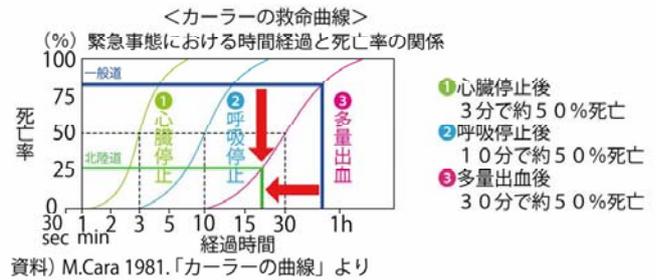
三条市から最寄りの第三次救急医療機関（重篤な救急患者の搬送先）は、新潟・長岡にあります。北陸道により所要時間が短縮され、大切な命を救う一助となっています。

● 三条燕ICから三次救急医療機関への所要時間と救命率の向上



資料 平成27年道路交通センサスで所要時間を算出
写真 新潟大学医歯学総合病院 (H30.5撮影)
長岡赤十字病院 (H30.6撮影)

三条市から長岡赤十字病院への搬送の場合、一般道利用48分に対し北陸道利用20分となり、多量出血による死亡率が75%以上から25%程度に減少し、救命率が約50%向上します。



● 第三次救急医療機関への搬送実績

三条市から第三次救急医療機関への搬送に、北陸道が年間167件利用されています。



約2日に一度は北陸道で搬送

資料 三条市消防本部

■ 救急搬送時の負担軽減

北陸道で救急搬送することにより、患者さん・救急隊員双方の負担が軽減されています。

三条市消防本部の声【救急活動への影響について】

市外への搬送は、一般道よりも早く搬送できます。北陸道を利用しなかったときに比べ、約15～30分は短縮されます。高速道路は揺れが少なく、隊員も患者さんの処置に集中でき、患者さんの負担軽減に繋がります。また、長岡北スマートICが開通したことで、さらに5～10分短縮されました。1分1秒を争う救命にとっては重要な時間です。



資料 ヒアリング結果 (NEXCO東日本)
写真 三条市

あなたに、ベスト・ウェイ。

